

2020

8
月号

つなぐ

団体応援講座

「ウィズコロナ」「アフターコロナ」対策
「今だからこそ！活動に役立つヒントとツール」

7月19日(日)、地域づくりメディエーターの影山 貴大さんを講師に迎え、まちづくり活動プラザで団体応援講座を開催しました。今回の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、会場定員を3分の1とし、10団体10名が参加しました。市民活動のベースは人とつながり、交流すること。新型コロナウイルス感染症の影響により、その交流がこれまでの形では難しく、活動を自粛している団体が多数みられます。このような中、活動を続けていくにはどうすればいいのか、そのヒントを見つけるために講座はスタートしました。

前半は“今だからこそ”の市民活動の存在意義とオンラインの場のもつ価値が語られました。

「企業は自分たちの組織の立て直しや職場環境の整備に、行政は新型コロナウイルス関連のサービス提供に追われる中、地域の課題に迅速に対応できるのは、まさに市民活動団体です」という言葉には皆さん納得の様子でした。実際、新型コロナウイルスの影響で何に困っているか、その度合いも人により様々です。その一人一人に寄り添えるのが市民活動団体の強みでもあります。

この状況下、オンラインの活用が社会全体でクローズアップされていますが、実は市民活動においては、そもそもその性質がとて役に立つとのお話がありました。「社会的課題を知り、その課題を解決するためのアイデアの創出には、幅広い客観的な情報と多様な知識が必要。それらを得るためには弱いつながりを作ることが有効で、それには“オンラインの場”がぴったりです」とのこと。

また、団体の活動に興味があっても実際に足を運ぶというのはハードルが高いですが、オンラインを活用することでそのハードルも下がり、仲間づくりにも役立ちます。

後半はオンライン会議に役立つ便利なツールが紹介され、その活用方法を講師の操作するパソコンの画面を見ながら学んでいきました。主に取り上げられたのは最近話題の「Zoom」を使ったWeb会議の開催方法。まずはアプリをダウンロードするところからスタートし、登録、会議への招待方法、そして会議中に使える便利な機能などが紹介されました。画面にはデモンストレーションでWeb会議に参加した6人が並び、離れていながらも対面と同じように交流できる感覚が実感できたのではないのでしょうか。

参加者からも「さっそくZoomをインストールし、色々な場面で活用していこうと思います」という声も聞かれ、これからの活動に役立っていただけそうでした。

これまでのように自由に集まり、活発に交流できるまでにはしばらくの時間が必要です。便利なツールを利用し、「地域課題や団体のミッションの共有」、「活動の進め方の工夫」を行い、通常の生活が戻ってきた時にはステップアップした活動につなげられるといいですね。

※講座の内容は市民活動センターホームページ内からアクセスしてご覧いただけます。



いま自分たちにできることを考え、オンラインでつながる場を実現

～Prism!プリズム～

自粛期間中にアイデアを出し合って準備をはじめ、2日間で約300人が集うオンラインのイベントを開催した「Prism!プリズム」代表の田頭あやこさんにお話を伺いました。

INTERVIEW

— まずは団体の概要について教えてください。

プリズムは、女性がどんなライフステージにいても妻や母親という役割だけにとらわれずに地域で活躍することを応援している団体です。会員は子育て中のママを中心に20～60代の多様なライフスタイルの女性が参加しています。

会員の専門性や資格を活かしたワークショップや講座、それぞれの思いを語る場としてお茶会のようなもの、さらに子育てママの文化祭「プリズムフェスタ」の開催などが主な活動です。

— 活動拠点の「プリズムネクスト」(まちづくり活動プラザ内) が閉館していた自粛期間中はどのように活動されていたのですか。

人が集うことができなかったので活動を休止していましたが、「オンラインで何かできないか」「プリズムフェスタをオンラインでやってみようか」という声が上がったので、日程も内容もノープランのままオンラインで集まって検討をはじめました。話合中で課題が生まれると、その課題ごとの場を作り、解決していきました。そして2日間で20のプログラムが集まりました。開催日の5月29日、30日までの準備期間は3週間でしたが、とても濃い時間でした。

— 誰かの指示ではなく、みんなの声がだんだんかたちになっていったのが素敵ですね。

この合意形成のプロセスは、これまで活動している中でも、とても大事にしていたことです。「小さい子がいるママたちはいま困っているんじゃないか?」と自分も当事者だからこそわかる人がいます。一人一人が自分に何ができるかを考える時間でした。

— 自分に何ができるかを問うことが社会とつながる第一歩ですね。オンラインで活動してみてどうでしたか。

家にいながらワンクリックでその場に参加できるので、間口が広がりました。家にいるお子さんやパパも一緒に参加できますし、遠方から参加した人もいました。その一方で、ファシリテーションによっていかにオンラインにおける場をつくるのかということが求められますね。「やっぱり対面だよね!」という声もありますし、オンラインとリアルな場を状況に応じて使い分けていきたいです。

— 今後の課題や工夫について教えてください。

現地に人が集まることが難しい状況が続くそうなので、何人かがプリズムネクストの会場から動画を配信して、他の人たちはオンラインで参加するのはどうかというアイデアも出てきています。場所にしばられないZoomの特性をいかしつつ、自分たちらしい活動をしていきたいです。



▲自宅からこんにちは!

5/29(金)		5/30(土)	
＼赤ちゃんから子どもママもパパも おうちで楽しもう!／			
10:00	オープニング オリエンテーション & 生演奏でラジオ体操をしよう!	10:00	オープニング オリエンテーション & 生演奏でラジオ体操をしよう!
10:15		10:15	
10:30	音楽であそぼーと リトミックあそびでー 田中幸子	10:30	子育て・わたしライフ両立のコツ こそだてタイム研究会 ほな
11:00	遊びながら肌触せしよう! アロマアソビ 田中幸子	11:00	遊びながら肌触せしよう! アロマアソビ 田中幸子
11:15	アイシングクッキー作り 大関千景	11:15	みんなで読もう「HANDCLAP」 船のかりんす 中野り
11:45	フェイクスイーツのチャーム作り Sweeties/Handy 藤原り	11:45	*
12:00	ランチタイム みんなで一緒にお昼を食べよう! 田中幸子	12:00	ランチタイム みんなで一緒にお昼を食べよう! 田中幸子
12:30		12:30	
12:45	フレッシュチーズでパンケーキ作り① お菓子教室アソビム 北内真代	12:45	フレッシュチーズでパンケーキ作り② お菓子教室アソビム 北内真代
13:15	組で作るミニサンキョウチャー フラワーワークショップ 葉山由佳	13:15	*
13:30	ベビーサイン体験会 ベビーサインふれあい「育児教室」 成瀬幸子	13:30	親子も家になる「育」育てのコツ こそだてタイム研究会 ほな
14:00	*	14:00	園まるハッピータイムで キーホルダー作成 Briante Roma 山崎幸希子
14:15	プリズム生会館限定 トークライブ	14:30	
15:00	楽しく写真を撮るコツ! フリーカメラマン 中野り		
15:30	*		
15:45	Tシャツでリメイク エコバック作り リメイクアソビスペースアソビワークショップ in Toei		
16:15	*		

▲「オンラインプリズムフェスタ」プログラム



▲活動拠点「プリズムネクスト」でミーティング (2019.11月撮影)

オンラインを活用することによって、新しいかたちでの「つながる場」を実現したプリズムのみなさん。これまでも一人一人の当事者意識や主体性を大事にしてきたからこそ、ピンチをチャンスに変えるようなアイデアや行動力が生まれたのだと感じました。また、今後の市民活動のあり方や可能性についてのヒントをたくさんいただきました。

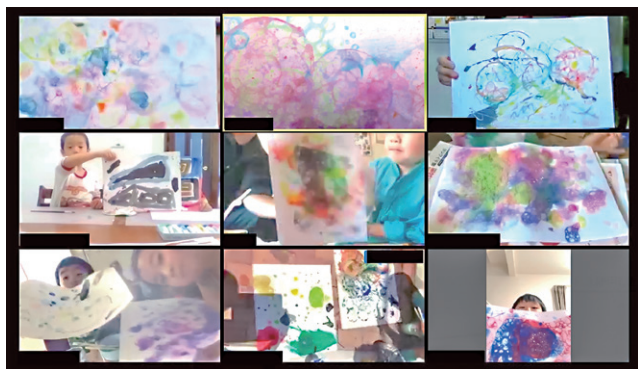
(市民ライター 西橋友理)

<子どもアトリエいろのもり>に学ぶ、オンライン活動のかたち

～親子のじかん～

自粛期間中、オンライン対話ツールZoomを利用して活動を続けた子ども美術教室があります。活動に込められた思いについて、「親子のじかん」の竹原かおりさんと田村李瑠さん、教室の講師で「Ude臨床美術部」代表の多田有美子さんにお話を伺いました。

INTERVIEW



▲ オンライン教室「シャボン玉でお絵描き」



▲ PC画面の向こう側

— 「子どもアトリエいろのもり」を始めた経緯を教えてください。

屋外保育で子どもの生きる力を育む「森のようちえん」を卒業したメンバーで、2017年、引き続き親子で外遊びを中心に活動する「親子のじかん」を設立しました。月に一度のペースで活動していましたが、外遊び以外にもアートを用いた遊びの時間があればいいねと、多様な感性を大切にする美術教室「子どもアトリエいろのもり」を始めました。

— 自粛期間中はどのように活動されていたのですか。

自粛で一斉休校となったため、家庭だけで過ごす日々が続いていました。もちろん、通常の教室も開催できません。そのような中「何らかの形で繋がりを維持したい」、「大変な時だからこそ何かしたい」という思いが強まり、Zoomでのオンライン教室を始めました。主宰側ではZoomの練習をし、講師側では手元カメラやマイクなどの機材を徐々に準備。初の試みに不安もありましたが、皆で協力しながら新しい仕組みを作りだしていくことへの期待もありました。週に1回、午前中に1時間15分、10組ほどの親子と、段ボールやシャボン玉など身近で揃えられる材料での創作活動を行いました。

— 聞いているだけで楽しそうですね。やってみてどうでしたか。

オンラインになると子どもたちの関係がフラットになるようで、全体的に発言が活発になり、対面の教室では人の話を聞くことが多いお子さんが、自分の作品について積極的にお話してくれる場面も見受けられました。

また、普段の活動をご覧になっていない家族にも興味を持っていただき、何組かは親子で参加され、「子どもと同じことに取り組むとその後の会話も弾み、素敵な時間でした」という声も聞かれました。最後に全員で作品を鑑賞する場面では、触り心地や色が伝わりにくいといった課題もありましたが、子どもたちへの表現方法や題材選びの工夫によって、「美術は対面ありき、画材ありき」という先入観をなくすことができたと感じています。

— 今後の活動についてはどうでしょうか。

オンライン教室は、家庭の都合で教室まで足を運べない参加者にも喜ばれているので、今後も対面とオンラインとを併用していく予定です。活動曜日が1つ増える感じです。また、オンラインなら時間や場所が自由なので、子どもたちが中高生になった時に、例えば「夜のいろのもり」なども開催できるかもしれません。ずっと何らかの繋がりを持てれば嬉しいですね。



▲ 対面教室での鑑賞会
(2019.11月撮影)

通常の活動の代替手段としてだけでなく、子どもの可能性を引き出したり家族の絆を深めたりするきっかけにもなったというオンライン教室。工夫によってこれまでの手法を見直し、新しい活動につなげた「子どもアトリエいろのもり」の取り組みは、一見オンラインは不向きと思われる団体にとっても、参考になるのではないのでしょうか。

(市民ライター 武田 めぐ)

「市民活動フェスティバル2020」参加団体募集のお知らせ

毎年、市民活動フェスティバルは展示に加えパフォーマンスやワークショップなど多彩な市民活動を紹介する場として開催していますが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展示を中心とし、Web配信やZoomなどを活用したオンラインでの開催を予定しています。活動しづらい状況が続いていますが、ぜひこの機会に皆さんの活動をアピールしてみたいかがでしょうか。

展示

- **開催期間** ① 11月18日(水)～11月25日(水)午前
② 11月26日(木)～12月2日(水)午前
※期間を2つに区切り入替制にて開催します。
- **場所** 浦安市役所市民ホール
- **対象** 令和2年度センター登録団体
- **団体数** ①②とも15団体 計30団体を予定
- **募集期間** 8月16日(日)～9月15日(火)、先着順
- **申込方法** 所定の申込用紙にてセンターへ直接、Eメール、FAXにて
※申込用紙はセンターに置いてある他、センターホームページからダウンロードできます。

- 展示準備：①11月17日午後 ②11月25日午後
- 片付け：①11月25日午前 ②12月2日午後
- 展示スペース：タテ120cm×ヨコ170cm
- 展示期間中、団体紹介動画をWeb配信予定(動画は各団体にてご用意ください)
- 説明会：9月27日(日)午前中
浦安市文化会館中会議室にて開催
- 参加団体が期間中、常駐する必要はありません。

Zoomによるワークショップ

詳細については、メールマガジン8/20号、センターホームページ(8月20日掲載)にてご案内いたします。

⚠ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況により、スケジュールや開催方法等が変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

浦安市市民活動補助金・浦安市まちづくり活動補助金 令和3年度実施事業を募集します

○ 市民活動補助金

市民活動補助金とは、地域をよりよくするための主体的な活動を促進することを目的としており、団体が行う事業に要する経費の一部を補助する制度です。団体の自立や活動を発展させるために、補助金を活用してみませんか。

■ **募集期間** 令和2年9月1日(火)～9月30日(水)

■ 市民活動補助金の種類

補助金の種類は2種類あり、応募できるのは、年度内に1団体1事業までとしています。※それぞれ2事業程度を補助対象候補事業として選定します。

① 自立促進事業(はじめの一歩)

会員確保を目的とした団体活動内容の宣伝に関する事業など、団体の自立を促進するのに効果的な事業。※以前に交付された団体は応募できません。

- 補助金額：1事業につき10万円以内
- 補助率の上限：補助対象経費総額×100%

② 活性化事業(ステップアップ)

活動期間が1年以上の団体が主体性を持って行う事業であって、公益性が高く、団体の活動を発展させるのに効果的な事業。

※以前に交付された事業と同じ事業でも、さらなる団体の活性化を図る場合は応募できます。ただし、1団体への交付は3回が上限となります。

- 補助金額：1事業につき50万円以内
- 補助率の上限：補助対象経費総額×80%

○ まちづくり活動補助金

まちづくり活動補助金制度は、市とまちづくり活動団体が連携及び協力し、地域の課題、行政の課題を解決するために、まちづくり活動団体等から事業を募集し、市とまちづくり活動団体が事業を実施する制度です。

■ **募集期間** 令和2年9月1日(火)～9月30日(水)

■ **募集部門** 一般提案部門：(まちづくり活動団体が自由にテーマを設定し提案する事業)

※今年度については、行政提案部門の新規事業募集はありません。

■ **補助金額** 予算の範囲内において、300万円以内

※補助対象候補となる事業数は、「一般提案部門」で1事業程度を予定しています。

⚠ 新型コロナウイルス感染症の状況により、スケジュールや公開プレゼンテーションの開催方法等を変更する場合があります。

※詳細は以下の浦安市ホームページをご確認ください。

市民活動
補助金



まちづくり
活動補助金



お問い合わせ 浦安市 市民経済部 市民参加推進課
電話：047-712-6059 (ダイヤルイン)
Eメール：shiminsanka@city.urayasu.lg.jp

編集後記

- センターが再開して間もなく、「仕事が休みなんだけど、何か自分にもできるボランティアないかなあ」と窓口に来館されました。舞台の大道具の仕事をしているので、大工仕事で貢献したかったとのこと。コロナ禍は生活に大きな影響を与えていますが、どんな状況下でも人の役に立つために一歩動き出す。その姿勢は素敵ですね。



問い合わせ・申込みは
市民活動センターまで

発行：浦安市市民活動センター
2020年8月10日

【 感染拡大防止のためのお願い 】

活動の際には、引き続き、『密集』『密接』『密閉』を避け、新しい生活様式を実践し、感染予防にご協力をお願いいたします。

〒279-8501 千葉県浦安市猫実1-1-1 (市庁舎1階)
TEL：047-305-1721 / FAX：047-305-1722
E-mail：shiminkc@jcom.home.ne.jp
URL：http://u-shimin.genki365.net